



ザリガニは1年間に、また、一生に何回だっ皮するの

1年間で7～10回だっ皮する

ザリガニは、産卵すると、メスがおなかの下の部分に卵をだきかかえてくれます。2週間ぐらいすると、卵がふ化しますが、その後、2～3週間ぐらい、赤ちゃんザリガニは、お母さんのおなかにしがみついてくれます。

ザリガニは、ふ化して1週間後に、最初のだっ皮をします。丸いこうらが、少しエビのような形になります。さらに1週間後、2回目のだっ皮をして、体長およそ8ミリメートルのザリガニになります。こうして、1年目で、7～10回だっ皮をし、体長が5～6センチメートルぐらいになります。でも、まだ、子どもです。

ザリガニがおとなになるのは、3年目

ザリガニは、2年目より後は、春と秋の年に2回ずつだっ皮して、2年目で体長7～8センチメートル、3年目で9～11センチメートルぐらいになります。ザリガニは3年目で、やっとおとなになります。ですから、おとなになるまでに、10～14回ぐらいだっ皮することになります。

暖かい所で、えさがたっぷりあれば、体長が13センチメートル以上にもなります。

ザリガニのじゅ命は、飼っているものなら、3～4年ぐらいです。自然の中では、ぶじに、おとなになるまで生きているのは、なかなか大変なことです。でも、長生きするものは、4～5年は生きられるようです。（監修・安部 義孝）

